

## 令和４年度 三浦市総合計画審議会（第２分科会） 議事録

- 【日 時】 令和４年７月２０日（水）１４：００～１６：１５
- 【場 所】 三浦市役所第２分館第１会合室
- 【出席者】 大武美代子委員、笹谷月慧委員、高瀬清孝委員、角田恵美委員、  
中澤謙介委員、廣瀬牧実委員、藤田昇委員、星野拓吉委員
- 【関係職員】 高梨学校教育課長、塚本教育総務課長、大木保険年金課長、中村子ども課長、  
松尾子ども課親子相談センター担当課長兼健康づくり課健康支援グループ  
リーダー、江原健康づくり課長、梅木医事課主査、石川市民協働課長、浜脇  
高齢介護課長、中村都市計画課長、小林市長室特定事業推進担当課長、盛永  
財産管理課まちづくり担当課長、矢尾板政策課長、三橋政策課ＧＬ

### 【次 第】

- １ 開 会
- ２ 議 題
  - （１） 座長の選出
  - （２） 三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について
  - （３） 会議録の公表手続きについて
  - （４） その他
- ３ 閉 会

### 【議事録】

#### １ 開 会

事務局（矢尾板政策課長）

- ただいまより、三浦市総合計画審議会第２分科会を開催する。

#### ２ 議 題

##### （１） 座長の選出

事務局（矢尾板政策課長）

- 昨年度、座長を務められた堀田委員が退任したので、今年度の座長を選出する。選出方法については、事務局より案をお願いする。

事務局（三橋政策課ＧＬ）

- 分科会の座長については、事務局からの推薦が慣例であるので、昨年度の座長の後任にあたる高瀬委員を座長に推薦する。

事務局（矢尾板政策課長）

- 事務局からの提案があった高瀬委員を座長に推薦することよろしいか。

一同

- 了承

事務局（矢尾板政策課長）

- それでは、高瀬委員に座長をお願いします。
- 分科会を開催するにあたり、高瀬座長より一言ごあいさつをお願いいたします。

高瀬座長

- 令和3年度の総合計画の外部評価について、皆さまと一緒に活発な議論を進めていきたいと思うので、ご協力をお願いします。

事務局（矢尾板政策課長）

- これ以降は、座長の進行でお願いします。

---

## （２）三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について

高瀬座長

- それでは、議題2の外部評価のうち、三浦みらい創生プラン（総合戦略）の重点施策の外部評価について、事務局より説明をお願いします。

### 事務局より、外部評価について説明（説明略）

高瀬座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。なければ、実際に評価を進めていく。
- 評価については、説明する担当課の関係上、施策No.8、9、5、6、7、10、12、4の順で進める。
- 本評価は、市民を代表して市の施策について評価するものである。今後の三浦市の発展に向けて、是非忌憚のない意見ををお願いします。
- ではまず施策No.8について、説明をお願いします。

### 高梨学校教育課長より施策No.8「三浦らしい海洋教育の実践」について資料に基づき説明（説明略）

高瀬座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

藤田委員

- 海洋教育だけでなく、農業や地元の事業者との連携で様々な授業を行ってきているが、具体的な成果についてはどのように捉えているか。

高梨学校教育課長

- 海洋教育については、コロナ禍ではあるが可能な範囲で積極的に、地元の事業者等と連携し、新たなカリキュラムを作ってきた。

- 具体的には、釣り船事業者と連携し、釣り船を活用して海上から三浦を見てみる体験や、漁協組合との連携による地引網体験、地元事業者からマグロの流通について教えていただいたり、釣りの体験をさせていただいたり、新しい様々なことが行えた。

藤田委員

- 海洋教育の集いは、コロナ禍においてどのような工夫を行ったのか。

高梨学校教育課長

- 海洋教育の集いについては、令和2年度に引き続き書面開催となった。令和3年度は書面開催に合わせて、各小中学校の授業実践や発表の動画を集め、小中学校のみ閲覧できるイントラネット上で公開し、情報共有を図った。

藤田委員

- 三浦市のホームページやネット配信で、配信の仕方を工夫されているようだが、現状はいかがか。

高梨学校教育課長

- 投稿サイトについては、教員だけが見られるところになっている。自身が実践したものについては、教員自身が投稿して、他の教員もキーワード等で検索して見ることができる。
- 外の方に向けても発信したいということで、その中から、外部に発信しても問題ない内容のものを整理し、三浦市ホームページの海洋教育の部分から、多くの実践を昨年度から広く公開をしている。

藤田委員

- 今後の改善策・手法の中にもあるが、実際、地域連携、地元の農家、漁業者等と様々な新たな取組を行ってきているが、具体的な授業づくりについて、地域との連携、事業者との連携が非常に重要だと思うので、引き続き工夫をした教育カリキュラムの作成とともに、教職員の資質向上を図っていただきたい。
- GIGA スクール構想の推進について、令和3年度からタブレット端末と電子黒板が配置されていると思うが、グローバル教育推進事業においても、GIGA スクール構想によって様々な効果が現れていると思うが、いかがか。

高梨学校教育課長

- 昨年度より全小中学生に一人1台のタブレット端末が配布されている。また、新しい教科書の中にはQRコードが散りばめられており、例えば英語の教科書では発音をタブレットで聞くことができる。ALTも活用しているが、毎授業に来られる訳ではないため、担任の教員が積極的にQRコードを使いながら、授業を行っている。
- 電子黒板については、小学校で2クラスに1台、中学校で3クラスに2台の割合で導入できている。実際に、タブレット端末と併せて活用することで、授業が分かりやすく進められている。「授業がわかりやすい」のポイントがあがったのも、一つ

はこの効果があると考えている。今年度については、さらに電子黒板の導入を進めていきたい。

藤田委員

- 電子黒板については、ぜひ全教室に整備をお願いしたい。
- QR コードについては、GIGA スクール構想の推進によって、活用の幅が非常に広がったと思うので、更なる推進をお願いしたい。
- ICT 支援員を 2 名に増員することによって、タブレット端末の使い方に広がりが出てきているので、教員も含めた教育の資質向上を図っていただきたい。

中澤委員

- KPI①の三浦市のことが好きかどうかという学校評価アンケートは、どのようなタイミングで、どのような質問項目の流れで聞いているのか。海洋教育を含めて三浦市独自の教育課程を受けたことによって、新たに三浦市のことを知った、魅力に気付いたという振り返りがあった上での、質問であれば、評価に繋がりやすいのではと思うが、どのように行っているのか。

高梨学校教育課長

- 実施は 3 学期に行っている。以前は、全国学力学習状況調査の生活アンケートを使っていたが、年度によって質問項目が若干変わることもあり、正しく分析ができないため、令和 2 年度から新しく作って実施している。
- 内容は、好きな教科はあるか、どういうところが授業で楽しいか、地域のことを知っているか、三浦のことが好きか、と小学生から中学生まで答えられるよう、簡単な項目としている、

高瀬座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確であるため、「4」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。

---

高瀬座長

- 次に施策No.9 について、説明をお願いする。

大木保険年金課長より施策No.9「市民の健康や体力の増進策」について資料に基づき説明（説明略）

高瀬座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

星野委員

- KPI②の数値の算出については、どのような対象者となっているか。

大木保険年金課長

- 国民健康保険加入者で、40 歳から 74 歳までの方が対象者となっている。

星野委員

- KPI の分析の中で、対象者は令和 2 年度が 9,093 人、令和 3 年度が 8,774 人になったということは、年度によって対象者数が違うということか。

大木保険年金課長

- 毎年、徐々に人数は減少している状況である。

星野委員

- 特定健診対象者と特定保健指導対象者との違いは。

大木保険年金課長

- 特定健診を受診した結果、リスクがあるとされた方について、特定保健指導を実施している。

星野委員

- 令和 2 年度の方が特定健診受診対象者が多く、令和 3 年度は少なくなっているのに、令和 3 年度の特定保健指導対象者が増えているのはどのような理由であるか。

大木保険年金課長

- 分母（特定健診対象者）は減っているが、受診者数は増えているため、それに伴って特定保健指導対象者も増えている。

藤田委員

- 胃がんリスクの KPI が目標達成に至らなかった理由は分析しているか。

江原健康づくり課長

- がん検診については、三浦市医師会と協力しながら、効果的な事業実施を検討しながら進めている。胃がんリスク検診については、色々な制度の検証をしている。胃がんリスク検診は一生に一回の受診でも良いのではという話も出てきている。制度の検証をしながら進めているところであり、受診勧奨はしているが、強化して勧奨をするには、検証の時間をいただきたいと考えている。

藤田委員

- 全体のがん検診の中で、血液検査で ABC 判定が出た場合の次回の勧奨についてはどのようなになっているか。

江原健康づくり課長

- 一度検診を受けていただいたら、次の検診は 5 年後になるため、その案内をハガキで行っている。

藤田委員

- 胃がんリスク検診で、40 歳から 49 歳の初回受診以外の数値は把握していないのか。

江原健康づくり課長

- 実績としては整理しているが、特化して計画上定めたのは、この年齢の区分となっている。

藤田委員

- 医師会とも連携し、定期的にワーキンググループを開催し、検討を進めていくということであるが、胃がんの罹患率も上がってきているため、KPI の目標を達成できるような取組をお願いしたい。
- 人間ドックは、市の負担により 15,500 円で受検できるようになっているが、市民が理解していない面もあると思うので、周知も含めて受診率が上がるような手法を考えていただきたい。
- 脳ドックは金額が安く全国から受診があったと思うが、受診者数が下がっているため、目標を達成するよう特化した工夫をお願いしたい。
- コロナ対策等含め、様々な市民の健康管理への取組について感謝している。検診の進捗状況をチェックしながら、推進をお願いしたい。

高瀬座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確であるため、「4」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。

---

高瀬座長

- 次に施策No.5 について、説明をお願いする。

**中村子ども課長より施策No.5「子育て世代の経済的負担軽減」について資料に基づき説明（説明略）**

高瀬座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

星野委員

- KPI の数値を高めるには、三浦市で子育てをしたいと思わない人を思うに変えていかなければいけないが、思わない理由については把握しているか。

中村子ども課長

- アンケートではその理由を把握していない。今年度のアンケートにおいて内容を検討したい。

廣瀬委員

- 2点お伺いする。1つは、宿泊型の産後ケア事業の実績件数はどうか。
- 2つ目は、KPI①については、3歳児健診まででアンケートを取っているが、学童期以降の保護者の方の意識の変化を捉える機会はあるか。

中村子ども課長

- 1点目の産後ケア事業の宿泊型サービスについての実績は0件である。周知の方法にも課題があると認識しているが、子育てに不安のある方のニーズを拾い上げても、宿泊型に至るところまではいかない。訪問型でおおよそのニーズが満たせているとも分析できるし、宿泊型は一般的な所得の方で、1万8千円と近隣市とほぼ同じであるが費用がかかるため、利用しやすいものであるか検討も必要と考えている。
- 2点目の学童期以降のアンケートについては、実施していない。3歳児健診までの4回の機会を実施している。

廣瀬委員

- 教育の機会が増えてきたときに市民の皆さんがどう思っているか気になったため、聞かせていただいた。

笹谷委員

- 4月に開設した「ひなたぼっこ」の相談件数はいかがか。

松尾子ども課親子相談センター担当課長兼健康づくり課健康支援グループリーダー

- 相談件数は、本日時点で延べ119件である。新規の方も27件いる。主に小学生や中学生の保護者の方からの子育てに関する相談や離婚されたひとり親の方、今後離婚したい方からの経済的な相談などがある。高校生からの相談も受けている。

笹谷委員

- 開設して日が浅く周知が行き届かないのではと心配していたが、それだけの件数があるということは、相談する場所を求めているのだと思う。

中澤委員

- 小児医療助成事業（市単独分）で、医療証の交付率が99.8%と極めて高いが、残りの0.2%はどのようなケースか。

中村子ども課長

- 6名の方が申請していただいていない。申請を促してはいるが返事がいただけていなかったり、別の医療制度を使用していたが切り替え手続きができていない方等となっている。電話や手紙で申請を促していく。

藤田委員

- 児童虐待防止事業であるが、令和2年度はコロナ禍の影響もあつてか、虐待相談件

数が 76 件あったと思うが、令和 3 年度の傾向や状況を教えていただきたい。

中村子ども課長

- 令和 3 年度の虐待相談件数は 35 件であり、令和 2 年度より大幅に減少している。傾向としては、全国的な傾向と同じく心理的虐待が最も多く 35 件中 21 件となっている。夫婦喧嘩による DV の警察通報が非常に多い状況である。
- 令和 3 年度は比較的相談件数は落ち着いているが、継続的な見守りが必要なケースがあるため、繰り返し訪問等を行っている。

藤田委員

- グループワークの個別セッションやオンラインセミナー等の取組の成果と思うが、コロナ禍で生活環境が変化している状況があるため、引き続き児童虐待防止の取組を強化していただきたい。
- 親子相談センターひなたぼっこの相談件数が増えているということも、相談体制が充実されてきているということだと思うので、虐待やヤングケアラー等の問題も含めて取組をお願いしたい。

高瀬座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標を達成しているため、「5」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。

---

高瀬座長

- 次に施策No.6 について、説明をお願いします。

中村子ども課長より施策No.6「子育て世代のワークライフバランスの推進」について資料に基づき説明（説明略）

高瀬座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

藤田委員

- ファミリーサポートセンター事業で、子どもを預かる会員数（預かり手）についてはどのような状況か。

中村子ども課長

- 預かり手の会員数は 19 人で、研修会等を通じて令和 2 年度より増加している。

藤田委員

- 今後、ひなたぼっこ連携して、周知も含め取組を強化していくとのことだが、延

べ利用者数が 65 人と増えている中で、預かり手の会員数の増加を図らないと利用者数が増やせない状況がある等、マッチング上の問題点はあるか。

中村子ども課長

- 利用者数は増えてきているが、預かり手の会員数が足りない状況ではない。限られた方が繰り返し利用する状況がある。実際に預かり手として活動されている人数がそれほど多い訳ではないが、マッチングするケースが増えているため、提供会員（預かり手）の募集は引き続き行っていきたい。

藤田委員

- 会員数の増加については、強化を図っていただきたい。
- KPI②において、申請者数が減少しているため保留児童数も減少しているとの分析であるが、22 人の保留児童がいるという状況があるため、実質の待機児童数が 0 人となるよう取組をお願いしたい。
- 放課後児童健全育成事業で、毎回要望があるのが職員の処遇改善への取組基準であるが、令和 3 年度は具体的にどのような措置をされたのか。

中村子ども課長

- 令和 3 年度における処遇改善は、国の施策で急遽、昨年 12 月に実施したものであるが、放課後児童クラブの常勤職員でおよそ 11,000 円という金額になる。常勤換算をした上で、金額に幅はあるが補助金として支出している。
- 国で制定されている基準に基づく従来からある処遇改善は、実施していない。

藤田委員

- 今回の処遇改善は、コロナ禍においての国の施策であるか。

中村子ども課長

- そのとおりである。

藤田委員

- キャリアアップも含めたコロナ禍でない部分の処遇改善についても、予算措置等難しいと思うが、検討をお願いしたい。

笹谷委員

- 横須賀市、川崎市では、預かる子どもの自宅で、両親が帰るまで子を預かるという方法があると聞いたが、三浦市のファミリーサポートセンターの運営方法を変えていく考えはあるか。

中村子ども課長

- 現時点では、提供会員の自宅での預かりから変更する考えはない。しかし、コロナ禍ということもあり、自宅預かりではなく、初声市民センターや市民交流センターを使って預かっている方が数名いる。提供会員の中にも自宅に連れて行って預かるということに抵抗がある方もいらっしゃるため、そのような場所を借りることで解消できればと考えている。

笹谷委員

- ファミリーサポートセンターが開かれる時に、民生委員にも働きかけを行ったが、自宅に子どもを連れてくるということがネックと思われる方が多くいた。
- 他市では、子どもを保育園まで迎えていって、その子の自宅で親が帰るまで預かるということをやっている。子どもにとっても安心感があると思う。

高瀬座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は達成しているため、「5」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。

---

高瀬座長

- 次に施策No.7について、説明をお願いします。

矢尾板政策課長より施策No.7「出会いの創出」について資料に基づき説明（説明略）

高瀬座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

廣瀬委員

- イベント参加にあたり年齢や未婚、再婚等の制限はあるか。

矢尾板政策課長

- 参加要件としては、45歳までとしている。未婚等の制限は設けていない。参加応募者の状況を踏まえて、年齢の幅については今後の開催にあたって検討していく。

藤田委員

- コロナの影響でイベント開催を見送るのではなく、オンラインで様々なイベントが行われているため、ZOOM等オンラインを活用し、KPI達成に向けた取組を行っていただきたいが、オンライン活用についての現状はいかが。

矢尾板政策課長

- 令和4年度の開催に向けては、対面を基本に考えている。通常は男女10名ずつだが、参加人数、接触や飲食の機会を減らし、感染リスクを低くし、イベントの開催を考えている。
- 自治体でオンラインでの婚活イベントの事例はあまり見受けられないが、三浦市に来ていただく、三浦を感じていただくことが、ツアーの大きな目標であり、それが移住・定住に繋がればと考えている。オンラインでそれをどのように満たしていくかが課題であるため、引き続き検討していく。

笹谷委員

- 結婚に至っていない理由は他にもあるのか。若者が結婚したいと思っているのか、したくないと思っている理由はあるのか、状況はわかるか。

矢尾板政策課長

- 時代が変わってきている状況があり、30 歳から 34 歳の全国平均の有配偶率は、昭和 60 年で 70%～86%であったが、令和 2 年度においては、男性が 50.8%、女性が 60.7%で、かなり数値が減ってきている。多様性も含めた時代の流れもあると思うが、一方で市民アンケートにおいて、結婚できていない理由として出会いの場がないという回答が多くあったため、市において出会いの場の創出を行うこととなった。今後アンケートを実施する際に、質問項目について検討していく。

笹谷委員

- アンケート等を通じて、その方の理由・状況にあった取組に繋げていただきたい。

高瀬座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。

---

高瀬座長

- 次に施策No.10 について、説明をお願いします。

**浜脇高齢介護課長より施策No.10「介護予防と見守り」について資料に基づき説明  
(説明略)**

高瀬座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

藤田委員

- 地域介護予防活動支援事業で、コロナ禍以前と比べ、教室等の参加者は大きく減少している。状況改善のための工夫が必要だと思うが、講師の人数はいかがか。会場が確保できても講師の数が不足するという事にはならないか。

浜脇高齢介護課長

- 現在は、2 名の方に元気アップ教室を行っていただいている。現状不足はないが、第 8 期の計画においては、最低でもあと 1 会場増やす予定であるため、検討していきたい。

藤田委員

- 会場数を増やす中で事業に支障が生じないよう、講師の増加等を図り、参加者数を増やす取組を行っていただきたい。
- 介護予防普及啓発事業のフレイルサポーターの状況はいかがか。

浜脇高齢介護課長

- フレイルサポーターは現在 53 名で、今年度 9 月に 2 回、養成講座を実施する予定である。例えば、いきいきシニア講座の中でフレイルチェック等をお手伝いいただく予定である。

藤田委員

- サポーターの人数は増えていくが、活用する場がないとの話も聞く。フレイルチェックの実施回数を増やしていただきたい。
- 総合戦略上の施策事業ではないが、リハビリテーション活動支援事業は、具体的な介護予防事業として令和 3 年度から取組がスタートしていると思うが、状況はいかがか。

浜脇高齢介護課長

- 今年度は 1 回実施している状況である。

藤田委員

- その事業も介護予防に繋がる事業であるため、総合戦略の施策として採り入れることを検討していただきたい。

高瀬座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。

---

高瀬座長

- 次に施策No.12 について、説明をお願いします。

中村都市計画課長より施策No.12「空き家対策」について資料に基づき説明（説明略）

高瀬座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

星野委員

- 意見ではないが、様々な空き家があり、空き家にならざるを得ない状況の場所が多

い。例えば、道路が狭い等、土地の状況で建て替えのできない場所に建っているものが壊さずに残ってしまっている。その理由の中に税金の問題もある。更地にしてしまうと固定資産税が高くなってしまう等があると思うが、状況はいかがか。

中村都市計画課長

- 委員のおっしゃるとおり、土地それぞれの条件があり、建て替えができないものもある。中には隣接する居住者が購入したいという相談もある。敷地が合筆され、一緒に土地利用できるということもあるため、今後の課題として認識している。

藤田委員

- 空き家の減少数 14 件のうち、苦情処理相談があったのは何件か。

中村都市計画課長

- 令和 3 年度に受けた苦情処理相談は 31 件であったが、直接、令和 3 年度中に空き家の減少につながったものはない。空き家問題は、相続、経済面等、解決に時間がかかるものだとして認識している。
- 実績の 14 件のうち、市が指導等を行ったものが 8 件で、平成 28 年度から令和 2 年度にかけて相談として関わったものが、令和 3 年度において実績として計上されている。

藤田委員

- 空き家も増加傾向にあると思うが、状況はいかがか。

中村都市計画課長

- 平成 27 年度に把握した当初は、295 件であった。以後、平均的に増加してきており、令和 3 年度末で 408 件となっている。傾向としては、これまで同様三崎地区での空き家件数が増えている。

藤田委員

- 神奈川県宅地建物取引業協会等の相談会の実施は、空き家対策として非常に有効であると思う。
- 空き家を処理する、解体することへの支援制度の検討も含めて、空き家への取組をお願いしたい。
- 出張型の相談事業の実績は何件であったか。

中村都市計画課長

- 出張型の相談事業としては、相談員の派遣制度があるが、令和 3 年度については 5 件の派遣を行った。
- 令和 2 年度の相談員派遣の 1 件が、令和 3 年度の空き家減少実績に結びついている。

藤田委員

- 様々な機関と連携強化し、空き家対策を進めていただきたい。

高瀬座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は達成しているため、「5」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。
- 

高瀬座長

- 次に施策No.4について、説明をお願いします。

小林市長室特定事業推進担当課長より施策No.4「ライフステージ・ライフスタイルに応じた多様な居住の促進」について資料に基づき説明（説明略）

高瀬座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

星野委員

- 子育て賃貸住宅など、デザインに関するものは、言葉だけでなく目で見てわかりやすいように、絵や図を見せて説明した方が良い。

藤田委員

- 移住相談セミナー等の実施件数を増やすような取組の検討はあるか。

矢尾板政策課長

- 昨年度末に初めて実施した移住講座であるが、全4回開催し、参加者は実際に三浦市に来ていただき、様々なジャンルの方から話を聞いていただいた。同じ参加メンバーが集まるため、情報交換が図れ、一体感が生まれた。結果として、その参加者の中から2組が移住を決めているため、効果的な取組であったと認識している。今年度も第2回の移住講座を開くことを企画しており、そのような講座も含め、新規の取組を引き続き考えていきたい。

藤田委員

- 地域の不動産業者等と情報共有、協力し、移住した方にインセンティブを与える等取組を広げていく必要があると思うが、いかがか。

矢尾板政策課長

- ここ数年で様々な不動産業者等と関係が構築されてきていると感じている。引き続き協力し、お互いの情報についてキャッチボールが行えるよう、制度構築を考えていきたい。

藤田委員

- ぜひ、よろしく願いしたい。また、サテライトオフィス等、様々な取組についても引き続きお願いしたい。

高瀬座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確であるため、「4」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。
- 

高瀬座長

- 次に、議題2の外部評価のうち、地方創生に係る交付金事業の評価について、事務局より説明をお願いします。

#### 事務局より、交付金事業の評価について説明（説明略）

高瀬座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。なければ、実際に評価を進めていく。
- それでは、資料7について説明をお願いします。

#### 矢尾板政策課長より、資料7について説明（説明略）

高瀬座長

- 今の説明に質問、意見があるか。
- 特段なければ、この事業の外部評価をさせていただく。
- 一部のK P I が目標値に達しなかったが、概ね成果が得られたとしており、地方創生に効果があったため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

高瀬座長

- それでは、そのように決定する。
- 

### （3）会議録の公表手続きについて

高瀬座長

- 次に、「会議録の公表手続きについて」、事務局より説明をお願いします。

事務局

- 本日の審議会以降、審議会を開催する予定がない。そこで、今回の審議会の議事録については、事務局で案を作成して各委員へ配布し、修正すべき点等を指摘いただ

き、それらを踏まえた修正を行ったうえで、座長一任で議事録を確定し、その後、ホームページでの公表という手続きで進めさせていただきたい。

- また、議題４ その他についても、事務局からの報告はない。

---

### ３ 閉 会

高瀬座長

- 以上で本日の議題は全て終了した。ここで、事務局に進行を戻す。

事務局（矢尾板政策課長）

- 本日は、出席いただき感謝申し上げます。
- また、貴重な意見をいただき感謝申し上げます。皆さんの貴重な意見を生かし、より良い事業へ見直していきたいと思う。
- 本日は長時間にわたり、ご審議いただき改めて感謝申し上げます。
- 以上をもって、令和４年度三浦市総合計画審議会第２分科会を終了する。